



A Clear Vision For Life

参天製薬株式会社

環境データブック 2016

目次

環境負荷の全体像	1
環境会計	2
■ 環境保全コスト	2
■ 環境保全対策に伴う経済効果	2
■ 環境保全効果	3
使用済み容器包装排出量	3
温室効果ガス排出量	4
エネルギー使用量	4
廃棄物排出量・処理量	5
水資源使用量・排水量	5
PRTR法第一種指定化学物質と取扱量	5

対象範囲

国内は、参天製薬グループの全事業場および国内子会社の株式会社クレールを対象としています
海外は、タンベレ工場（フィンランド）および蘇州工場（中国）を対象としています

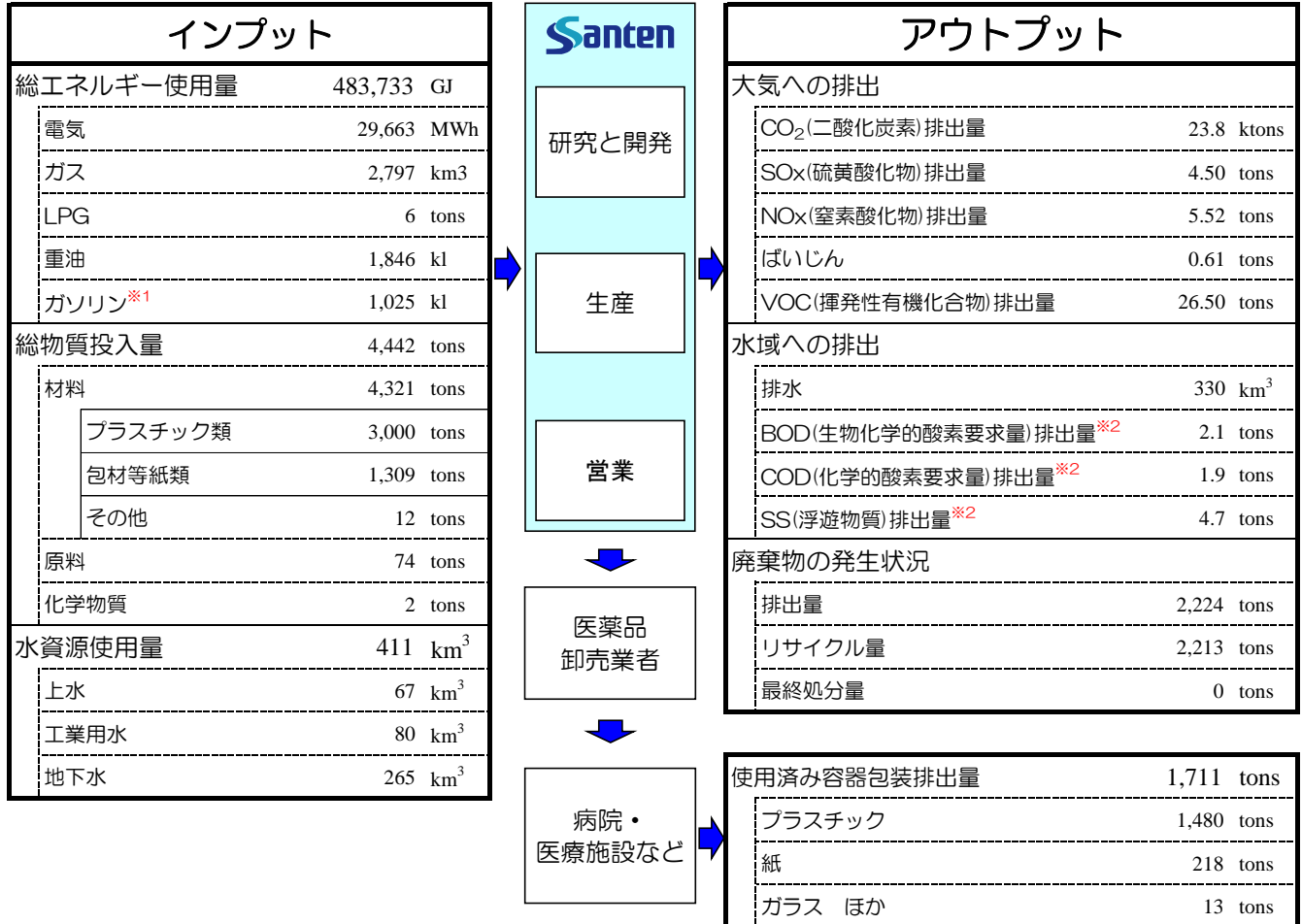
対象期間

国内は、2015年4月1日～2016年3月31日を対象としています
海外は、2015年1月1日～2015年12月31日を対象としています

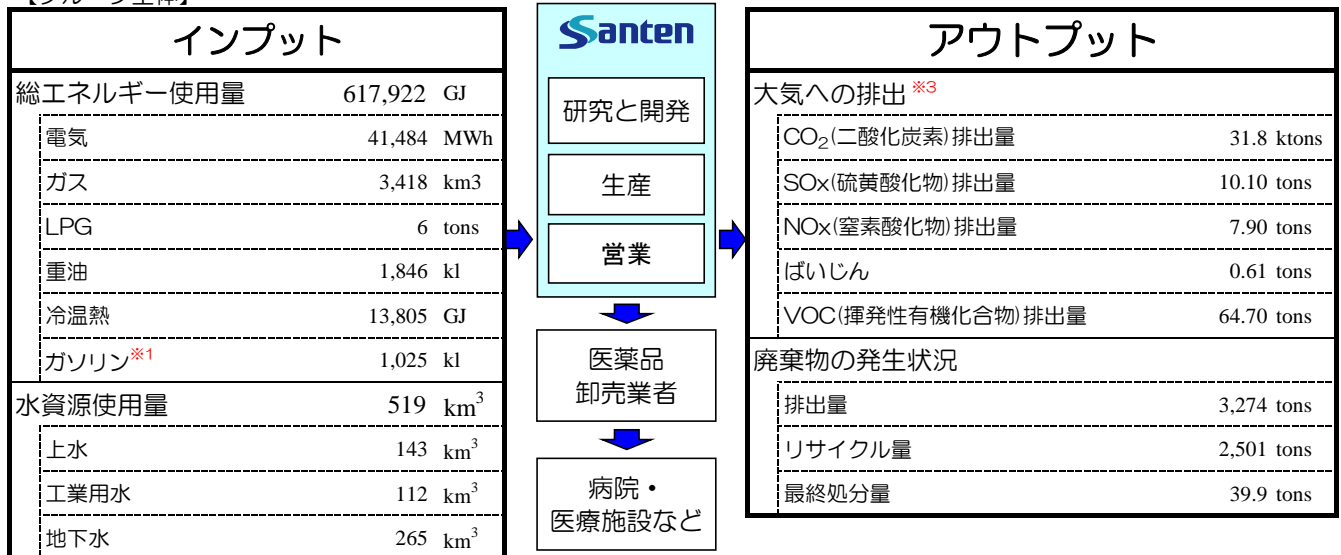
環境負荷の全体像

参天製薬グループは、事業活動に伴うエネルギー使用量・物質投入量・水資源使用量・大気や水域への排出量・廃棄物の発生状況などについて、環境に及ぼす影響を把握するとともに、環境負荷の低減に向けた取り組みを継続的に実施しています。
 今年度は、海外の主要な工場を対象範囲に含めたグループ全体を記載しました。今後、さらに情報開示の対象および内容を充実していきます。

【国内】



【グループ全体】



※1 主として営業車における使用量です
 ※2 定期測定結果と総排水量を基に排出量を推計しています
 ※3 蘇州工場（中国）は含まれていません

環境会計

参天製薬では、より効率的な環境経営の実践をめざすために、参天製薬単体の環境保全の取り組みに関わるコスト（投資額と費用）およびその効果（経済効果と環境保全効果）を把握するとともに環境負荷の低減に努めています。

集計範囲：参天製薬単体の環境保全に関わるコストおよびその効果

対象期間：2015年4月1日～2016年3月31日

集計方法：環境省「環境会計ガイドライン2005年版」を参考にしています

■環境保全コスト

単位：百万円

分類	2014年度		2015年度	
	投資額	費用額	投資額	費用額
事業エリアコスト	15.0	256.2	8.6	238.0
公害防止コスト	7.4	91.4	6.2	78.2
地球環境保全コスト	7.6	102.7	1.5	85.1
資源循環コスト	—	62.1	0.9	74.8
上・下流コスト	—	19.9	—	16.3
管理活動コスト	—	120.0	—	79.0
研究開発コスト	—	—	—	—
社会活動コスト	—	0.1	—	0.1
環境損傷コスト	—	—	—	—
合計	15.0	396.2	8.6	333.4

- 目的が明らかに環境保全にかかわるものと判断できる場合のみ計上しています
- 費用額には減価償却費を含めており、財務会計と同一の減価償却方法を採用し計上しています
- 当期の投資については、投資額と費用額の両方に計上しています
- 万の位を四捨五入し表記しているため、合計欄は単純会計と異なります
- 環境管理担当部署の担当者および環境マネジメントシステムの認証維持・運用にかかわる事務局担当者の人件費を管理活動コストに計上しています
- 「—」は取り組みや費用などが発生していないものです

■環境保全対策に伴う経済効果

単位：百万円

分類	2014年度	2015年度
収益	82.7	76.1
費用削減	15.4	16.0

- 確実な根拠に基づいて算出される実質的效果のみを計上しています。

■環境保全効果

分類	単位	年度		環境保全効果	対前期 増減率(%)	
		2014	2015			
エネルギー	総エネルギー使用量	GJ	599,016	483,733	- 115,283	- 19
	電気	kWh	32,376	29,663	- 2,713	- 8
	ガス	km ³	3,723	2,797	- 926	- 25
	LPG	tons	5.5	5.8	0.3	5
	A重油	kℓ	1,814	1,846	32	2
	ガソリン	kℓ	1,096	1,025	- 72	- 7
水資源	総水資源使用量	km ³	419	411	- 8	- 2
	上水	km ³	119	67	- 53	- 44
	工業用水	km ³	58	80	22	37
	地下水	km ³	241	265	23	10
原料	原料	tons	4,226	4,396	170	4
地球温暖化	CO ₂ (二酸化炭素)排出量	ktons	27.2	23.8	- 3.5	- 13
大気汚染	SO _x (硫黄酸化物)排出量	tons	2.2	4.5	2.3	108
	NO _x (窒素酸化物)排出量	tons	8.3	5.5	- 2.8	- 34
	ばいじん排出量	tons	1.2	0.6	- 0.5	- 47
	VOC(揮発性有機化合物)排出量	tons	31.0	26.5	- 4.5	- 15
水質汚染	総排水量	km ³	377	330	- 47	- 12
	BOD(生物化学的酸素要求量)排出量	tons	2.8	2.1	- 0.6	- 22
	COD(化学的酸素要求量)排出量	tons	2.0	1.9	- 0.1	- 6
	SS(浮遊物質)排出量	tons	3.5	4.7	1.2	34
廃棄物	排出量	tons	2,121	2,224	104	5
	リサイクル量	tons	2,071	2,213	142	7
	最終処分量	tons	10.7	0.4	- 10.3	- 96

使用済み容器包装排出量

分類	単位	年度		環境保全効果	対前期 増減率(%)
		2014	2015		
プラスチック	tons	1,599	1,480	- 118	- 7
紙	tons	130	218	88	67
ガラス ほか	tons	17	13	- 5	- 26
合計	tons	1,747	1,711	- 35	- 2

温室効果ガス(CO₂)排出量 [tons]

【国内】

事業場	2011	2012	年度 2013	2014	2015	対前期 増減率(%)
下新庄オフィス（大阪工場）	4,967	4,510	3,265	4,345	336	-92.3
能登工場	11,829	10,868	9,340	9,761	10,097	3.4
滋賀プロダクトサプライセンター	4,708	5,158	5,416	5,431	6,544	20.5
奈良研究開発センター	4,778	4,837	4,666	4,331	4,034	-6.9
営業拠点ほか	2,785	2,709	2,803	3,369	2,740	-18.7
合計	29,067	28,082	25,491	27,237	23,751	-12.8

電気使用に伴うCO₂排出係数は日本製薬団体連合会の係数を使用しています

単体売上高原単位 [t-CO ₂ /億円]	28.2	26.3	19.8	19.7	15.2	-22.7
----------------------------------	------	------	------	------	------	-------

【海外】

タンペレ工場（フィンランド）	2,144	2,265	2,252	2,120	2,015	-5.0
蘇州工場（中国）	4,600	5,226	5,467	5,293	6,074	14.8
合計	6,744	7,491	7,719	7,413	8,089	9.1

電気使用に伴うCO₂排出係数は国際エネルギー機関（IEA）が公表している係数を使用しています

【グループ全体】

温室効果ガス(CO ₂)排出量	35,811	35,572	33,210	34,650	31,840	-8.1
連結売上高原単位 [t-CO ₂ /億円]	31.3	29.9	22.3	21.4	16.3	-23.9

エネルギー使用量 [GJ]

【国内】

事業場	2011	2012	年度 2013	2014	2015	対前期 増減率(%)
下新庄オフィス（大阪工場）	117,961	106,892	79,094	100,595	9,625	-90.4
能登工場	232,515	222,110	204,470	212,605	219,213	3.1
滋賀プロダクトサプライセンター	110,679	121,064	127,411	129,066	153,088	18.6
奈良研究開発センター	111,585	112,775	109,050	101,513	93,807	-7.6
営業拠点ほか	44,346	43,193	44,768	55,237	8,001	-85.5
合計	617,085	606,035	564,792	599,016	483,733	-19.2

単体売上高原単位 [GJ/億円]	598	568	439	433	310	-28.4
------------------	-----	-----	-----	-----	-----	-------

【海外】

タンペレ工場（フィンランド）	56,804	59,481	57,067	54,805	51,413	-6.2
蘇州工場（中国）	64,486	72,824	76,348	77,560	83,871	8.1
合計	121,290	132,305	133,415	132,365	135,284	2.2

【グループ全体】

エネルギー使用量	738,375	738,340	698,207	731,381	617,922	-15.5
連結売上高原単位 [GJ/億円]	645	620	470	452	316	-30.0

廃棄物排出量・処理量 [tons]

【国内】

事業場		年度					対前期 増減率(%)
		2011	2012	2013	2014	2015	
下新庄オフィス（大阪工場）	排出量	306	336	296	331	136	-58.8
	リサイクル量	237	272	241	321	132	-59.1
	最終処分量	3.4	3.1	11.4	2.0	0.2	-88.9
能登工場	排出量	1,467	1,484	1,320	1,532	1,580	3.1
	リサイクル量	1,455	1,484	1,320	1,532	1,580	3.1
	最終処分量	0.6	0.1	0.1	0.1	0.0	-100.0
滋賀プロダクトサプライセンター	排出量	380	378	262	146	405	176.6
	リサイクル量	380	378	262	146	405	176.6
	最終処分量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	—
奈良研究開発センター	排出量	149	146	130	111	103	-6.8
	リサイクル量	22	8	71	71	97	35.8
	最終処分量	22.8	29.4	11.9	8.7	0.2	-97.6
国内合計	排出量	2,303	2,344	2,008	2,121	2,224	4.9
	リサイクル量	2,094	2,142	1,894	2,071	2,213	6.8
	最終処分量	26.8	32.7	23.3	10.7	0.4	-96.0

【海外】

タンペレ工場（フィンランド）	排出量	1,098	1,190	1,171	1,055	992	-6.0
	リサイクル量	283	294	237	252	263	4.4
	最終処分量	21.8	25.3	17.9	7.6	6.5	-14.2
蘇州工場（中国）	排出量	33	50	34	43	58	36.7
	リサイクル量	15	17	11	15	25	66.9
	最終処分量	18.3	32.9	23.0	27.5	33.0	20.0
グループ全体合計	排出量	3,434	3,585	3,213	3,219	3,274	1.7
	リサイクル量	2,391	2,452	2,142	2,338	2,501	7.0
	最終処分量	66.9	90.8	64.2	45.8	39.9	-12.8

水資源使用量・排水量 [km³]

【国内】

事業場		年度					対前期 増減率(%)
		2011	2012	2013	2014	2015	
下新庄オフィス（大阪工場）	使用量	74	67	44	60	5	-91.4
	排水量	54	47	44	60	5	-91.4
能登工場	使用量	324	257	239	247	271	9.8
	排水量	225	225	214	225	215	-4.3
滋賀プロダクトサプライセンター	使用量	69	82	75	71	94	32.2
	排水量	60	65	48	52	69	34.7
奈良研究開発センター	使用量	49	52	46	41	41	-1.6
	排水量	31	33	46	41	41	-1.6
国内合計	使用量	516	459	405	419	411	-1.9
	排水量	369	370	352	377	330	-12.4

【海外】

タンペレ工場（フィンランド）	使用量	66	70	50	53	51	-3.8
蘇州工場（中国）	使用量	36	33	34	44	57	29.5
グループ全体合計	使用量	618	562	489	516	519	0.6

PRTR法第一種指定化学物質と取扱量※ [kg]

【国内】

物質名	年度					対前期 増減率(%)
	2011	2012	2013	2014	2015	
アセトニトリル	2,071	1,819	1,602	1,407	1,776	26.2
ほう素及びその化合物	705	636	632	646	695	7.5
キシレン	390	256	220	166	166	0.3
クロロホルム	430	364	139	12	28	133.3
ノルマル-ヘキサン	615	350	108	6	22	266.7
ホルムアルデヒド	76	314	63	16	16	0.0
その他	726	521	239	171	102	-40.4
合計	4,398	3,910	2,895	2,418	2,783	15.1

※各事業場で年間1kg以上の取り扱いがあった化学物質の取扱量の合計

各事業場で年間1kg以上の取り扱いがあった物質数	19	19	24	19	18	-5.3
--------------------------	----	----	----	----	----	------

